

定住自立圏構想の概要について

1 定住自立圏構想の状況

国（総務省）の施策である定住自立圏構想は、人口5万人程度以上などの条件を満たす中心市と周辺市町村が相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体で必要な生活機能を確認し、地方圏への人口定住を促進する自治体間連携の新たな取り組みです。（平成20年12月26日定住自立圏構想推進要綱制定）

中心市は、全国に262市あり、県内では、熊本市、八代市、玉名市、山鹿市、菊池市、天草市、人吉市の7市となります。本市を含め、これまでに中心市宣言を行っているのは、昨年12月に宣言された菊池市を加えて5市となっています。

また、県内で中心市宣言後に定住自立圏を形成しているのは、本市を含め、合併1市圏域で形成された山鹿市と天草市、人吉・球磨10市町村での圏域で形成された人吉市（平成27年1月14日協定締結）の4圏域となっています。

2 定住自立圏形成へ向けた手続き

①中心市宣言（平成26年9月25日）

定住自立圏を形成するにあたり、中心市である八代市が地域全体のマネジメント等において中心的役割を担う意思を示します。

②定住自立圏形成協定（平成27年3月23日）

中心市と周辺町が1対1の関係により定住のために必要な生活機能を確認するため、役割を分担して行う連携事項について、個別に協定を締結します。

※中心市・周辺町のそれぞれの議会での議決を経て協定を締結します。

③定住自立圏共生ビジョン（平成27年12月）予定

定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的な取り組みを定めたビジョンを中心市が策定します。※住民のご意見をいただきながらビジョンの策定を行います。

3 今後の予定

平成27年8月下旬 パブリックコメント

10月下旬 第2回 八代市定住自立圏共生ビジョン懇談会

11月初旬 八代市・氷川町首長懇談会

12月 定住自立圏共生ビジョンの策定